

令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 すがお 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和4年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されないことがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.21	18.86	33.79	40.36	45.92	9.53	150.83	20.31	52.28
本市	16.29	18.72	34.05	39.47	46.86	9.51	151.13	21.34	52.55

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.10	17.97	38.18	38.66	36.97	9.70	144.55	13.17	54.31
本市	16.24	17.46	38.12	37.90	38.13	9.69	144.81	13.31	54.12

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
「運動をすることは好きですか」について、全ての児童が好きと答えており、運動に親しむ素地が整っていると思われる。また、「体育の授業は楽しいですか」についても、全ての児童が楽しいと回答していた。コロナ禍でも、各担任が工夫を加えながら体育科授業に取り組んできた成果と考える。「運動やスポーツをすることが好きな理由」について、「できなかったことができるようになるから」の回答が100%であった。体育科の学習を通して、児童が達成感を味わうことができていると考える。今後も体力向上への取組を継続していく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

体育の授業の導入では、めあての確認を行い、見通しをもって活動に取り組めるようにしていく。また、体力向上プログラムを活用し、各学年の課題や実施単元を踏まえた準備運動を行い、適切な運動量を確保する授業マネジメントを継続する。今後も感染症対策など、安全面に十分に配慮し、自己の課題に応じたきめ細かな指導と、児童一人一人に達成感が得られる授業展開の工夫を行っていく。

② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

1校1取組として、週1回、朝の学習の時間に「すがおアップアップタイム」と題して体力づくりに取り組んだ。保健体育委員会の児童が毎月の活動テーマを決め、活動は縦割りグループの班ごとに行った。6年生がグループの活動内容を考えるなど意欲的に取り組むことができた。今後も、より児童の主体的な活動となるように工夫を加えながら実践していく。
